

2018年度 学術研究員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	被選考者なし							
文	教授	新谷 英治	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	ヨーロッパ各国(ロシア含む)、地中海沿岸各国、アメリカ、カナダ	関西大学図書館、関西大学東西学術研究所、京都大学附属図書館、東京大学附属図書館、(財)東洋文庫、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	オスマン朝とヨーロッパ・地中海世界の政治的・文化的関わりに関する歴史学的研究を行なう。	
	教授	工藤 康弘	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	ドイツ	関西大学	マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルクにある初期新高ドイツ語コーパスを用いて、語法の助動詞の歴史的变化を探る。	
	教授	菅村 玄二	短期 (6カ月)	2018.9.21 ～ 2019.3.22	アメリカ	関西大学、信州大学、宇都宮大学、早稲田大学、桜美林大学	身体及びその感覚について、理論的及び実証的な研究を実施する。具体的な研究内容は次の2点 ①東アジア、特に日本文化における身体性の概念についての文献研究 ②姿勢と注意制御に関する基礎的なデータの取得	
	教授	西本 昌弘	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	—	関西大学図書館・個人研究室、神奈川県立金沢文庫、国立公文書館、国立国会図書館、宮内庁書陵部、東京大学資料編纂所 他	空海(弘法大師)と嵯峨天皇(弘仁皇帝)の関係からみた平安時代初期仏教史・政治史の再検討を行なう。	
	教授	蟻川 順子	短期 (2カ月)	2018.7.24 ～ 2018.9.20	ベルギー、オランダ、ドイツ、フランス、イタリア、ポルトガル、イギリス	—	日本にあるキリスト教美術に関連して、次の3つの課題について研究を行なう。 ①ヨーロッパ近世における聖心イメージ ②茨木市「天使讃仰図」と対抗宗教改革期のカテキズムの関連性に関する仮説の論証 ③この頃の銅版画家が従事した景観図制作をめぐる、近世風景画の視覚的フレーミングの研究	
経	教授	小林 創	長期 (1年)	2018.10.1 ～ 2019.9.20	アメリカ、シンガポール、中国	関西大学、京都大学経済研究所、東京大学経済学研究所	長期的関係における協調行動の出現についての繰り返しゲームの理論構築と実験研究を行う。特に、相手の行動がよく分からない状況において、どのような情報を頼りに行動をするかについて分析する。	
	教授	佐藤 方直	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	スペイン、アメリカ	関西大学	(1)「20世紀アメリカ経済思想における自由社会構想の系譜」 (2)「1970年代以降の日本におけるモラル・サイエンスとしての経済学と規範理論の系譜」	
	教授	前川 聡子	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	—	関西大学(研究室、図書館)	Fairness(公正)とEfficiency(効率性)のバランスという観点から、税制のあるべき姿をモデル化するとともに、そのモデルに基づいて、日本の現行税制を評価する。	
商	教授	小井川 広志	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	イギリス、マレーシア	—	発展途上国の経済発展の研究を行なう。具体的には、現在のマレーシア経済の達成と課題を、イギリスによる植民地統治の遺産、ならびに独立後の外資導入策、新経済政策などの諸政策の統合的な結果として捕らえ、研究を行なう。	
	教授	辻 美枝	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	ドイツ、韓国、ベルギー、オランダ、イギリス、アメリカ	—	保険取引の国際課税上の問題について、比較法分析に基づき、主に保険の特殊性ゆえの考慮の必要性、租税の中立性および課税権の適正配分の観点から研究する。	
	教授	宮本 京子	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	フランス、イギリス、オランダ	関西大学	CSR情報を中心とする非財務情報の信頼性について、監査・保証業務の制度的枠組みにおいてどのように担保されているのかをフランスの制度・実務から現状分析する。	

※ 「関西大学学術研究員規程」第3条第1号の在職期間及び年齢要件(いずれも2018年4月1日現在)に抵触しないことを確認しています。

※※会計研究科、心理学研究科心理臨床学専攻は2か年で20カ月、教育推進部及び国際部は2か年で14カ月をそれぞれ2年ごとに割り当てます。

2018年度 学術研究員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
社	教授	吉岡 至	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	ドイツ、ベルギー、イギリス	沖縄国際大学法政研究所、沖縄県立図書館、沖縄県立公文書館	メディア環境が変容するなかでの、ニュースメディアと政治コミュニケーションに関する調査研究を行い、国内外での世論形成におけるマス・メディアの位置づけとその機能について検討し、ニュース・コミュニケーションの特質を明らかにする。	
	教授	富田 英典	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	イギリス、フランス、カナダ	関西大学	多くの人々が日常生活(オフライン)において常にネット上の情報(オンライン)を参照するようになった現象である「セカンドオフライン」が、今日のメディア文化を象徴するアニメに代表されるクール・ジャパンの中に顕著に現れている。このような現象が何故生じ、国内外で拡大しているのかを研究する。	
政策	准教授	三枝 憲太郎	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	イギリス、アイルランド	—	・イギリス非都市部における文化的多様性の展開の現状把握 ・イギリスEU離脱に伴う4つのネイション間の関係性の変容	
	教授	白石 真澄	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	イギリス	関西大学、関西大学東京センター 他	「認知症高齢者の社会参加を可能とする地域システム」 認知症の人が安心して社会で生活するには医療や福祉の枠組みを超え、企業を含めた地域社会全体が対応を求められることは必至である。認知症患者の人権および家族の視点から望ましいまちづくりと支援体制の在り方を考える。	
	教授	後藤 元伸	短期 (2カ月)	2018.7.21 ～ 2018.9.20	ドイツ	—	ヨーロッパにおける法人格のない団体に関する研究	
外国	准教授	サイモン・ハンフリーズ	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	イギリス	—	これまでは日本の高校における英語学習者の“capacity to speak(CTS)”(英語で話す潜在的能力)を決定づける要因解明に焦点をあてていたが、研究対象範囲を大学と大学生に拡大し、海外留学を経験する学習者のCTSの変化を、留学前から留学後まで長期的に捉える研究を行う。	
	教授	菊地 敦子	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	ニュージーランド、オーストラリア、イギリス、アメリカ	関西大学図書館、神戸女学院大学、津田塾大学、立教大学	通訳翻訳学が英語圏の大学、大学院でどのように教えられているかを調査する。授業見学、教員との話し合いを通して、通訳者翻訳者養成の実践的トレーニングと通訳翻訳理論との組み合わせ方法、大学院教育で扱う研究テーマなどに関する情報を集める。	
人間	教授	志岐 幸子	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	アメリカ、イギリス	早稲田大学スポーツ科学学術院	スポーツ選手へのマインドフルネスの活用法、ファンタジーやヒーリング等に関する情報を収集することで、弱さを受容し感謝の念を想起させる取組やファンタジー、自然との関わり方によって、人間の感性の働きが高められるかどうかの可能性を模索する。	
総情	教授	喜多 千草	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	アメリカ	京都大学、関西大学、国立国会図書館、ケアタウン小平	戦争とコンピュータについての歴史研究書をまとめ、戦後のコンピューティング技術に関する知識の循環及び初期の科学計算に関する調査を行なう。また、Advance Care Planningに関する調査とイノベーション教育方法論の調査研究を行なう。	
	教授	田中 成典	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	カナダ、アメリカ	国土交通省、東京大学、岩手県立大学、琉球大学、関西大学東京センター、関西大学	3次元情報の利活用のための社会基盤技術の確立と社会振興に向けた仕様及び規定の策定に向けて研究成果を完成させる。また、社会活動情報とスポーツ情報に関する調査研究を行なう。	

※ 「関西大学学術研究員規程」第3条第1号の在職期間及び年齢要件(いずれも2018年4月1日現在)に抵触しないことを確認しています。
 ※※会計研究科、心理学研究科心理臨床学専攻は2カ年で20カ月、教育推進部及び国際部は2カ年で14カ月をそれぞれ2年ごとに割り当てます。

2018年度 学術研究員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
社安	教授	山崎 栄一	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	アメリカ、ニュージーランド	関西学院大学災害復興制度研究所	包括的な被災者支援法システムの構築に向けた、調査研究ならびに政策提言を行う。政策提言の内容は、これまでは体系的・統一性の欠けていた被災者支援法制度の現状を克服すべく、「被災者総合支援法」の提言に向けての準備作業を行う。	
シス理	准教授	鈴木 哲	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	ドイツ	—	マイクロ波による非接触の生体計測技術に関する基礎研究とその医療及び人間工学的応用に関する共同研究・開発を行なう。	
	教授	稲田 貢	短期 (6カ月)	2018.4.1 ～ 2018.9.20	アメリカ、フランス、カナダ	—	量子ドット、ナノワイヤーなどの集合体によって創成される「人工物質」が示す特異な光学的、磁氣的、電氣的特性の評価とそれらを用いた新規デバイスの応用に関する研究を行なう。	
環都	教授	榎井 健	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	イギリス	—	伝統木造構造及び先端木造構法による建築骨組の構造特性に関する研究を行なう。	
	教授	三宅 孝典	短期 (2カ月)	2018.7.19 ～ 2018.9.18	ドイツ、ベルギー、フランス	—	ゼオライトや金属有機構造体の調製方法、物性解析、研究開発の方向性の調査を行なう。	
化生	准教授	河村 暁文	長期 (1年)	2018.9.21 ～ 2019.9.20	アメリカ	—	双性イオン構造を有する高分子の合成及びそのバイオマテリアル応用についての研究を行なう。	
法務	教授	川口 美貴	短期 (6カ月)	2018.9.21 ～ 2019.3.22	フランス	国立国会図書館、最高裁判図書館、法務図書館、労働政策研究・研修機構資料センター、東京大学社会科学研究所図書館、東京弁護士会・第二東京弁護士会合同図書館、連合(日本労働組合総連合会)総合研究所	日本とフランスの労働法制(労働市場と雇用保障、賃金・労働時間等の最低基準の設定、労働と家族的責任の両立等)の比較研究を行なう。	
会計	被選考者なし							
心理	被選考者なし							
教育	被選考者なし							
国際	教授	澤山 利広	長期 (1年)	2018.4.1 ～ 2019.3.31	アメリカ、カナダ、フィリピン、ブータン、カンボジア、オーストリア、イギリス、エチオピア	東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学(社会貢献学会)、沖縄県((公社)青年海外協力協会(JOCA))	国際機関あるいは日米加と欧州各国の政府系国際協力ボランティアによるアジア・アフリカの国々での当該社会に及ぼす「開発効果」とボランティア自身にとつての「教育効果」、援助国の地域社会への「還元効果」の探究を行なう。	

※ 「関西大学学術研究員規程」第3条第1号の在職期間及び年齢要件(いずれも2018年4月1日現在)に抵触しないことを確認しています。
 ※※会計研究科、心理学研究科心理臨床学専攻は2か年で20カ月、教育推進部及び国際部は2か年で14カ月をそれぞれ2年ごとに割り当てます。